令和6年度「実施計画 兼 まちづくり達成状況報告書」(事務事業点検シート)

課等名: 財政課

シート No.: 119 作成日: 2025.9/24

① 総合計画上の位置付けと事務事業の背景・目的と目標

後期基本計画	施策の大綱	VII行財政運営の効率化	事務事業の背景・目的	事務事業の目標
	施策の目標	1 市民満足度の高い行財政運営を進める	類似団体の決算額構成比を比較すると、公債費の割合が高く(令和4年度:当市10.7%、類似団体8.9%)、公営企業会計の企業債残高も増加していることから、実質公債費比率が高い状態となっています(令和4年度:当市8.2%、類似団体6.6%)。 また、基金残高は水害前の水準を超えましたが、類似団体と比較すると低い値(令和4年度一人当たり積立金:当市111,187円、類似団体146,525円)となっています。 公債費や基金の残高について、類似団体平均水準を目標とすることで、財政の健全化に繋がっていきます。	・事業実施における国県支出金をはじめとした特定財源の意識付けや、市の財政状況の把握・分析による事務事業の見直しなどについて、研修などを通し啓発することで、一般財源の有効活用に努めます。 ・将来負担を軽減するため、借入りに頼らない事業の実施や公債費の繰上償還により、地方債残高の減少を目指します。 ・上記の取り組みにより財源の確保が出来た時には、基金への積み立てにより、積立金残高の増加を目指します。
	施策	2 財政運営		
	施策内容	財政運営の適正化		
その他、根拠法令及び分野別計画等	地方公共団体の財政の健全化に関する法律			
事務事業名	財政の健全化			

② アクティビティ(活動・事業)とアウトプット(結果)

③ インプット(投入)

アクティビティ(活動・事業)		アウトプット(結果)			R6予算額	R6決算額
活動名・事業名(対象年)	R6活動・事業内容	指標(単位)	R6目標値	R7目標値		
職員研修の開催(R6・7・8)	市の財政状況の把握や健全化、予算編成に向けた職員研修を適宜実施します。	研修受講者(人)	190	195	0千円	0千円
			195	200		
予算内容の周知(R6・7・8)	当初予算や補正予算の内容を周知することで、職員間の共通認識や全庁的な事業の把握に繋がっていきます。	-	-	-	0千円	0千円
			-	-		
基金積立額(R6・7・8)	基金への積み立てを実施することで、将来負担の軽減に繋がっていきます。	積立額(千円)	300,000	300,000	491,748千円	490,630千円
			490,630	300,000		
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円
					千円	千円

④ アウトカム(成果)

指標名	目標値	R6実績値
積立金残高(一般会計)	8,000百万円(R9)	7,443百万円
実質公債費比率	6.6%(R9)	7.6%

⑤ 点検・改善

業務の振り返り	改善の余地
基金の積立額について、令和6年度においては、市税等の収入増加や普通交付税の追加交付があったため、目標値よりも多く基金への積み立てが可能となりました。今後は物価高騰や人件費の増加など、経常的な経費における歳出が増加する傾向にあり、また、施設の老朽化に伴う建設事業なども実施していく必要があるため、基金の重要性は増していくと考えられます。	☐ コスト ☐ 活動 ☒ 成果 ☐ その他
	類似団体平均値において、自治体ごとの積立金残高の基準は明確ではなく、また、財政調整基金や特定目的基金など、様々な基金が含まれているため、単純な比較とはならない点に注意が必要です。 また、実質公債費比率についても、借入れをすることで債務負担の平準化となる面もあるため、必ずしも借入りに頼らないことが良いという事ではない点に注意が必要です。 これらを踏まえながら、目標値に近づくようにしていきたいと考えます。